

令和5年度

令和5年6月16日



遷喬小だより

6月号②

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

多様性を認め合う集団作り ~個と集団をつなぐ~

6月は温かい集団作りを目指して取り組んでいます。そこで、令和2年度2月号にお伝えしたことを再度、掲載したいと思います。

学校では、それぞれの授業や行事において、一人ひとり目標やめあてをもって（計画）、いろいろなことに挑戦し（実行）、その結果どうだったか振り返り（確認）、次の課題に向かって動く（アクション）」というサイクルを回しています。その積み重ねにより、一人一人が自立した人いわゆる「自己教育力のある」「自己マネジメントできる」そんな人に成長してほしいと願っています。

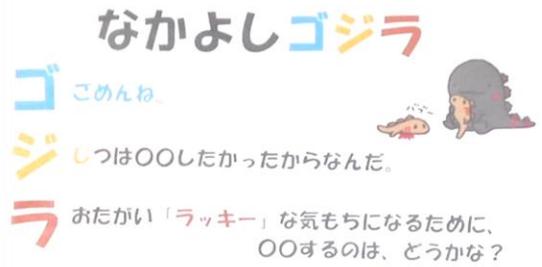
ただ、このサイクルはいつもうまくいくとは限りません。誰にでも得意不得意はあります。できないこと、苦手なことはあるのです。そのようなときに、あきらめず、努力をしていくことはもちろん大事ですが、周りの人に声をかけ、応援を頼むこともとても大事なことだと思います。「困っているときに、ヘルプが言える」「周りの人に問う・頼む・お願いする」きっと周りの人は応援してくれます。学校で学ぶ意義はそこにあると思います。学校では、子どもが互いの困難さを共有し、自分事として考えることを大切にしていきたいと思います。大切な価値観について教師と子どもが考え、一人一人の納得を積み重ね、子ども同士をつなげていくことで、「多様性を認め合う集団作り」に近づくと考えています。「個」と「集団」をつなぐことをつねに意識して取り組み、子どもたちの成長を促していきたいと思います。一人一人が繋がり、そのおかげで、前に進むことができると、新たなエネルギーも湧いてきます。そのエネルギーが「自分で自分を成長させる」ことにつながるはずです。

校内には 一人一人を大切にするために 様々な掲示が なされています。一部を紹介します。

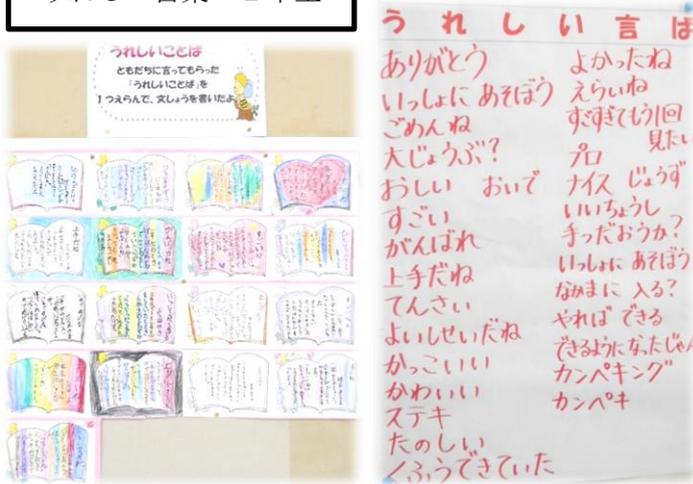
ふわふわ言葉 1年生



なかよしゴジラ 3年生



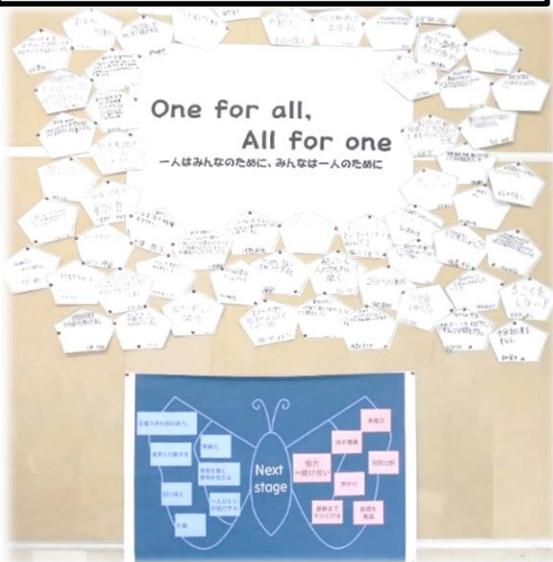
うれしい言葉 2年生



グループで生き生きと活動する4年生



One for all All for one 5年生



最高学年として6年生

自分たちで考えて

クラス・学校のために動く



「何したらいいですか」
これぐらいまあひっか



提案・アイデア・行動

※失敗しても大丈夫

友だちや自分を

大切にすること



悪口・仲間はずれ
失敗を笑う



よいところを見つけよう
聴き合う・誘い合う

素直な心を忘れない



うそをつく・ごまかす
人のせいにする



認める 「ごめんなさい」
努力 「ありがとう」